

福井県立若狭歴史博物館 常設展仏像一覧				
仏像	時代	指定文化財	場所	所蔵
大日如来坐像	平安時代(11世紀中頃)	福井県指定文化財	小浜市飯盛	黒駒区
不動明王坐像(複製)	平安時代(11世紀後半)	重要文化財	おおい町大島	常禅寺
不動明王立像(複製)	平安時代(11世紀後半)	重要文化財	小浜市尾崎	円照寺
馬頭観音坐像(複製)	平安時代(11世紀前半)	重要文化財	高浜町馬居寺	馬居寺
観音菩薩立像	平安時代末(10～11世紀)			当館
不動明王立像	平安時代(11世紀)		小浜市加茂	加茂神社
不動明王及び二童子立像	平安時代(12世紀後半)		小浜市	はんじょうじ 飯盛寺
阿弥陀如来坐像	平安時代(10世紀)	小浜市指定文化財	小浜市	仏谷区
地藏菩薩半跏像	江戸時代(19世紀)		小浜市上根来	地藏堂
不動明王立像	平安時代後期(12世紀)		小浜市野代	妙楽寺
如法経料足寄進札	室町時代 享禄3年(1530)			当館

## 若狭の仏教文化と寄進札

若狭の地は「海のある奈良」と称され、古代から都とのつながりを密に持っていた地域です。「お水取り」をはじめとした仏教儀礼や今日に伝わる文化財から、その様相を窺うことができます。

当館は開館以来、若狭地域における仏教文物の収集・展示を行ってきました。若狭歴史博物館へのリニューアル以降、「若狭のみほとけ」として仏教文化を紹介しています。今回の展示では、若狭地域に伝わる仏像のほかに、当館が新たに収蔵した『如法経料足寄進札』をはじめとした資料を展示します。

現在の小浜市域には、明通寺や飯盛寺といった大寺院に、寄進札と呼ばれるものが多く残っています。これらの札は、追善供養のために米や銭を施入した際に奉納されたものです。施主や奉納年代が記されるものが多く、明通寺に伝わる寄進札の中には上段に絵が描かれるものもあり、制作年のわかる絵画資料としても注目されます。

寄進札は、天台宗の如法経<sup>じよほうきやう</sup>信仰との関連が指摘されており、若狭地域の大寺院に伝来した資料から、当時の信仰世界の一端をご覧ください。